

イタセンパラ保全の取り組みとして、羽島市立桑原学園4年生、5年生児童を対象にした羽島市主催の第12回イタセンパラ塾（環境学習会）が開催されました。

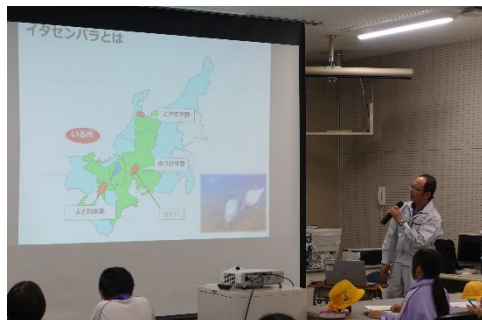
当日は、イタセンパラの生態や生息環境について室内学習を行い、その後木曽川ワンドにおいて、国土交通省によるワンド環境改善の取り組みを説明し、モニタリング調査体験としてワンドに生息する魚類の採捕やパックテストを用いた簡易水質調査を体験していただきました。

■第12回 イタセンパラ塾 開催概要

- ・日時：2025年10月24日（金）10:30～12:30
- ・場所：羽島市立桑原学園、木曽川石田地区ワンド
- ・参加：羽島市立桑原学園4年生10名、5年生23名

(主催：羽島市市民協働部生涯学習課 共催：国土交通省木曽川上流河川事務所)

室内学習



荻谷専門研究員からの講話

岐阜県水産研究所から、イタセンパラの生態や生息環境についての講話をいただきました。

野外学習② 魚類調査体験



網で掬って魚を採捕



捕まえた魚を図鑑と見比べて同定

プールをワンドに見立てて魚類の採捕体験を行いました。図鑑を見ながら捕まえた魚を同定し、木曽川のワンドに生息する生きものを観察しました。

野外学習① 工事説明



山田建設専門官によるワンド工事説明

本物のワンドを見ながら、現在のワンド環境の問題点や環境改善の取り組みについて学習しました。

野外学習③ 水質調査体験



川の水などをパックテスト



パックテストの結果まとめ

パックテスト（COD）を使用し河川水の水質を調査しました。木曽川の水はきれいであること、ジュース等を入れるとすぐに汚れてしまうことを確認しました。